

令和7年7月23日

保護者の皆さまへ

八尾翠翔高等学校
校長 氣賀 聡

八尾翠翔高校版「ラーケーションの日」の実施について

盛夏の候、保護者の皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に、ご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、表題にある「ラーケーション」は、ラーニング（学び）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語で、他府県の小中高において、生徒・保護者の指定する日を「校外で学習する日」として実施しています。本校では、他府県の取組みを参考にしつつ、下記のとおり、「総合的な探究の時間」の一環に位置づけた「八尾翠翔高校版ラーケーション」として実施することといたしました。

本来ならば、周知等の準備を十分にしてから次年度より導入することが望ましいところですが、その有効性も考えて本年度の2学期より導入いたします。（11月5日（水）に実施）

つきましては、「ラーケーションの日」のねらい、生徒の「ラーケーションの日」の届出の流れ等、下記の内容を十分に確認いただき、ご理解・ご協力をお願いいたします。

記

1 八尾翠翔高校版「ラーケーションの日」のねらい

八尾翠翔高校版のラーケーションは、「総合的な探究の時間」（授業）の一環として実施します。これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、自分で課題を発見し、学び続ける力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、企業研修に参加したり、平日の大学や短大・専門学校などの上級学校を見学したりするなど、多くの人と出会い、体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、保護者の方も、子どもと一緒にラーケーションに関わることで、学びの共有を行う機会にもなります。

生徒が主体的に計画し、行動することで学びの機会を創造する。そのような体験を行うために設定したのが、3学年一斉実施による、自分プログラムの総合的な探究の時間としての「個人校外学習」です。

2 「ラーケーションの日」実施の流れ

(1) 計画の立案

生徒本人、もしくは保護者と一緒に「ラーケーションの日」の計画を立てる。

- ・生徒は事前の計画を立案し（活動する場所・学ぶ目的や内容）、ラーケーションカードへ記入、保護者に計画について承認してもらう。

(2) 届け出

担任の先生にラーケーションカードを提出し、チェックを受ける。

(3) 計画の承認

担任の先生からラーケーションカードの返却

(4) 「ラーケーションの日」の実施

生徒本人、もしくは保護者と一緒に、校外で体験や、探究の学び・活動を行う。

(5) 振り返り

学んだことについてまとめ、保護者と話し合ったりして次回の計画を考える。

ラーケーションカードを記入し、添付書類があれば整理する。

(6) ラーケーションカードの提出

担任の先生にラーケーションカードを提出（必要あれば添付書類も提出）

3 令和7年度における実施日

- 1 1月1日（土） 3限授業・中学生体験入学（午後）
- 2日（日） 休日、3（月） 祝日、4（火） 代休日
- 5日（水） 「ラーケーションの日」

本件問合せ先
大阪府立八尾翠翔高等学校
教頭 末吉 覚
TEL 072-943-8107